

道徳 - 4 (第3学年) 書く活動を通して生徒にねらいとする道徳的価値に関わる自分自身の考えをもたせた事例  
【学習活動の概要】

1	主題名	きまりを守ることの意義	4	(1)	法やきまりの遵守
2	資料名	二通の手紙	文部省	中学校	道徳教育推進指導資料(指導の手引)6
3	<p>ねらいとする道徳的価値について</p> <p>多くの中学生は、社会の仕組みを理解し、世の中には多くのルールが存在していることも分かってきている。しかし、そのきまりが、「何のためにあって、なぜそれを守らなければならないのか。」を深く考えることは少ないと思われる。きまりを正直に守ることをばかばかしく思ったり、自己の欲望や快感を満たすために、簡単にきまりを破ったりする。きまりの意義を正しく理解する必要がある。本授業を基に、社会の一員としてきまりの意義を正しく理解し、公私の関わり、自他の権利と義務などを考えさせる。自立した生活を送れるよう、道徳的判断力を養う。</p>				
4	<p>資料</p> <p>「二通の手紙」は、幼い姉弟の動物園に入りたいという願いを叶えるべきか、閉園間近で、しかも子どもだけでは入園できないというきまりを守るべきかという狭間で揺れる元さんの気持ちを表した物語である。元さんの行動は、心理的には理解できるものの、個人的な感情や都合で判断したために、社会の秩序と規律を乱し、そのために多くの人たちを問題に巻き込んでしまった。元さんのもとに届いた二通の手紙を通じて、元さん自身が自分の行動についての是非を考えさせられている資料である。</p>				
5	<p>本時の学習活動</p> <p>【ねらい】動物園のきまりと入園者の事情を察した元さんの揺れる心情を通し、きまりの意義を理解するとともに、集団の秩序を高めるための道徳的判断力を養う。</p>				
		主な学習活動		指導上の留意点	
導入		<p>1. 「きまり」についてのイメージを交流する。</p> <p>「きまり」と聞いてどんなイメージがあるか。</p>		<p>今の自分を振り返らせる。</p>	
展開		<p>2. 「二通の手紙」を読んで話し合う。</p> <p>あなたが元さんだったら、幼い姉弟を入園させたか。また、それはなぜか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート1に記述</li> <li>・ワークシート1の記述を学級全体に発表</li> </ul> <p>事務所の中で、連絡を待っていた時、元さんはどんなことを考えていただろうか。</p> <p>母親からお礼の手紙をもらった元さんは、どう思ったのだろうか。</p> <p>元さんが「この年になって初めて考えさせられたこと」とは何だったのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート2に記述</li> </ul>		<p>前半部分を教師が音読する。</p> <p>元さんの気持ちを理解した上で、自分ならばどうするかを考えさせる。</p> <p>言語活動の充実(発問)</p> <p>書く活動を通して生徒に自分自身の考えをもたせ発表し合う中で、自分の感じ方や考え方を明確にさせる。</p> <p>きまりを破ってしまった元さんの問題点に気付かせる。</p> <p>手紙の形で配付し、教師が音読する。</p> <p>母親からの感謝の気持ち、解雇という重い処分になったことの重大さを理解させる。</p>	
終末		<p>3 本時を振り返り、考えたことをまとめる。</p> <p>授業全体を通して、考えたことをまとめよう。</p>		<p>ワークシート2に書かせる。</p>	

【解説】

【指導事例と学習指導要領との関連】

中学校学習指導要領・道徳の第3章の第2内容の「4 - (1) 法やきまりの意義を理解し、遵守するとともに、自他の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める。」に関する事例である。本事例は、きまりの意義を理解し集団の秩序を高めるための道徳的判断力を養うことをねらいとして、書く活動を通して生徒が自らの感じ方や考え方を明確にすることによって道徳的価値の自覚を深められるように工夫したものである。

【言語活動の充実の工夫】

書く活動においては、必要な時間を確保することで、生徒は自分なりの取り組み方でじっくりと考えることができ、意見をまとめることができる。また、書いたことを発表し合うことで、自分の考えを深めることができる。生徒の資料に対する感じ方や考え方を交流させながら話合いが進められる。

本事例では、主人公の気持ちを理解した上で、自分であったらどうするかをその理由とともにワークシートに書く活動を取り入れ、そのことを基にした話合い活動の時間を確保することとした。きまりの意義を理解せずに、きまりを守っているのは周りにあわせているだけの自分であることに気付かせ、主人公と自分を重ね合わせて考えさせることが大切である。ワークシートを2枚作成し、発問については話合いで生徒の考え方をつかむとともに、時間中に回収し、発問の書く活動の時間などで個々の生徒の考え方を確認して進めるようにした。授業の中で、すべての生徒に1度は発言の機会を保障するように努めるとともに、書かれた内容から生徒の感じ方や考え方を把握することができ、個別指導を進める上での資料となる。また、ファイルに綴じて蓄積することによって、学習を継続的に深めていくことができ、心の成長の記録とすることもできる。

言語活動の実際（展開2の の概要）

T1 ワークシートを配ります。あなたが元さんだったら、幼い姉弟を入園させましたか。それはなぜですか。自分の考えを5分でまとめて書いて下さい。何人かに意見の発表をお願いします。

ワークシートに書く活動

ワークシートの記述を発表

- T2 では、発表してもらいます。入園させると考える立場の人から、S1さんお願いします。
- S1 弟を思うお姉ちゃんの優しい気持ちを大切にしたいと思います。
- T3 S1さんと違う理由で入園させたいと思う人はいますか。S2さんが入園させてもよいと思う理由は、何ですか。
- S2 毎日来ていたのによく知っている姉弟でしたし、今日は特別何かがありそうだと感じたからです。
- T3 S3さんが入園を認める理由は、どのような理由ですか。同じようなことでもよいですから積極的に話して下さい。
- S3 入園するためにやっとお金を貯めたことが分かります。入園させないとかわいそうです。
- T4 入園させると考える立場の人3人から、その理由を聴きました。それでは、入園させないという立場の人に発表してもらいます。S4さんお願いします。
- S4 閉園まで時間がなくて幼い姉弟では動物園を見て回る時間がないので、無理に入園させる必要はないと思いました。
- T5 他の理由で入園を認めない人はいますか。S5さんの理由は何ですか。
- S5 入園のきまりを職員は必ず守らなければいけないと思うからです。
- T6 ここまでに出された意見とは別の理由による考えを発表したい人はいませんか。いないようでしたら、ワークシートを集めます。

思考力・判断力・表現力等の学習活動の分類： ， （ 分類番号はP5表参照）